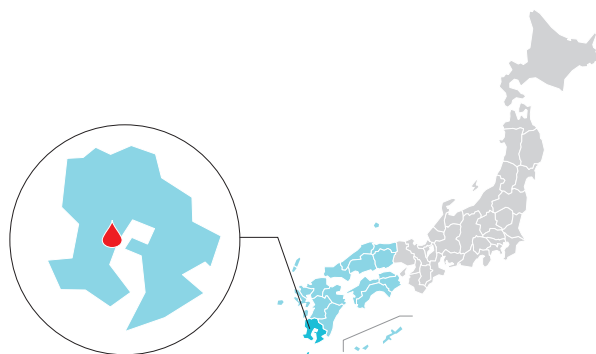


市民間の交流を活発にし環境保全を共に考えたい！

# 甲突川源流ウォーク

団体名 **郡山マグニチュード21**

主な活動地域 **鹿児島県鹿児島市甲突川周辺**



## 目的

1993年、豪雨で氾濫した甲突川の災害をきっかけに上流下流の住民が、河川環境を考えようと発足し、植樹による「緑のダム」作りや、市民が川に親しむ「水と緑の交流会」などを実施してきた。今回は2006年より実施している「甲突川源流ウォーク」を行う。市民間の交流を図りつつ、源流の美しさや生活に直結する水を実感し、市民レベルで環境保全を考えられるようにしたい。特に子どもの参加を呼びかけ、次世代へつなげたい。



ボランティアに参加しよう！

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| ★八重山集落の方々とのそば植え | 2008年10月 |
| ★そば収穫とそば打ち体験    | 2008年12月 |
| ★甲突川上流下流地域市民交流会 | 2009年 6月 |
| ★甲突川源流ウォーク      | 2009年 7月 |

## 実施内容

甲突川源流ウォークでは、甲突川小浦から甲突池まで川の中を歩き、生物を観察し、途中棚田も見学し、森林インストラクターから山、田んぼ、川、そして海につながる自然環境の関わりを学ぶ。源流を訪ねることで、水に対する思いが深まり、市民ひとり、ひとりが環境保全の意識を持つきっかけになることを期待したい。午後は子ども達が楽しめるよう、木工細工等を行う。甲突川を舞台に市民交流、そして親子のふれあい、心と体の健康作りにつながるようにする。また、八重山集落の方々の指導で麓の畑地でそば植えを体験し、収穫後はそばを打ち、食するなどして、農家の方々との交流も深める。



14.7haの八重棚田は水を貯える緑のダムである



ホテルロビーでヒアリング

## 選考委員のひとこと

甲突川の冷たく澄んだ水と川歩き後に見た八重棚田の美しさに感動！ この環境を守る気持ちを次世代につなげるために、これからも活動を続けて欲しいと感じた。

TOTO 国際事業企画部 Mさん記



森林インストラクター(左端)の話に耳を傾ける